

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公表番号】特表 2006-527762(P2006-527762A)
 【公表日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-048
 【出願番号】特願 2006-516807(P2006-516807)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/39 (2006.01)
A 6 1 K 47/30 (2006.01)
A 6 1 K 38/00 (2006.01)
A 6 1 K 31/7088 (2006.01)
A 6 1 K 47/44 (2006.01)
A 6 1 K 39/145 (2006.01)
A 6 1 K 47/48 (2006.01)
A 6 1 K 39/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/39
 A 6 1 K 47/30
 A 6 1 K 37/02
 A 6 1 K 31/7088
 A 6 1 K 47/44
 A 6 1 K 39/145
 A 6 1 K 47/48
 A 6 1 K 39/00 H

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 6 月 12 日 (2007.6.12)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体の免疫応答を調節するための薬学的組成物を調製するための、スフィンゴイド - ポリアルキルアミン抱合体の使用。

【請求項 2】

被検体のインフルエンザウイルスに対する免疫応答を増強又は刺激するための薬学的組成物を調製するための、N - パルミトイル D - エリスロスフィンゴシルカルバモイル - スペルミン (CCS) の使用。

【請求項 3】

(1) 少なくとも一つのスフィンゴイド - ポリアルキルアミン抱合体と、
 (2) 少なくとも一つの生物学的に活性な分子と
 を含む、被検体の免疫応答を調節するための薬学的組成物。

【請求項 4】

ヘマグルチニンノイラミニダーゼとともに、N - パルミトイル D - エリスロスフィンゴシルカルバモイル - スペルミン (CCS) を含むワクチン。

【請求項 5】

(1) スフィンゴイド - ポリアルキルアミン抱合体と、

(2) 被検体の免疫応答を調節することができる生物学的に活性な分子とを含む複合体。

【請求項 6】

(1) N - パルミトイル D - エリスロスフィンゴシルカルバモイル - スペルミン (C C S) と、

(2) 被検体の免疫応答を調節することができる生物学的に活性な分子とを含む複合体。

【請求項 7】

スフィンゴイド - ポリアルキルアミン抱合体と、捕捉剤としての前記抱合体の使用説明書とを備えた、生物学的に活性な分子を捕捉するためのキット。

【請求項 8】

N - パルミトイル D - エリスロスフィンゴシルカルバモイル - スペルミン (C C S) と、捕捉剤としての前記抱合体の使用説明書とを備えた、生物学的に活性な分子を捕捉するためのキット。